

tys テレビ山口

海ごみゼロ維新プロジェクト 事例報告

# 海ごみゼロ維新プロジェクトの目的

- 海ごみの発生要因から環境への影響を学び、山口から「海ごみゼロ維新」を起こす志士を輩出する！
- 海洋ごみ問題を“自分ごと”化し、実際に解決に向けた“アクション”を起こしてもらうことを目的としたプロジェクト

本年度の総参加者数

約8,000人以上



# プロスポーツチーム レノファ山口FCとのコラボ

## ・レノファ山口FCとコラボした理由

山口県内で認知度が高いプロサッカーチームとコラボすることで、様々な年代に興味を持ってもらい“自分ごと”化してもらうことが目的

## ・コラボ内容

### 【スタジアム篇】

- ①ハーフタイムにスタジアム内ビジョンを活用しオリジナル動画の放送！
- ②スタジアム2か所にゴミステーションの設置！
- ③特設ブースを設置しごみ分別の呼びかけ・クジラのモニュメントでごみ分別推進！

## ・コラボ内容

### 【スタジアム外篇】

- ①レノファ山口FCキャプテンとコラボした動画を放送し啓発活動の活性化を図った！



# 小学生や地元住民とのコラボ

## ・ コラボした理由

これからの未来を担う児童たちが中心となり地域の団体、企業、専門学校と一体となって取り組んでいるごみ拾い活動に参加することでごみの収集、分別をともに行い、啓発活動を通して海ごみ問題についての理解を深めてもらった。

### “ごみゼロ大作戦”参加団体

- ①小郡南小学校全校児童、教員
- ②おごおり地域づくり協議会
- ③寺岡工業
- ④YIC公務員専門学校生
- ⑤近隣の企業の方々と地域住民



合計800人以上が  
オリジナルの青い軍手をつけて  
ごみ拾い活動を実施

# 人生のこれからを考える家族とのコラボ

## • コラボした理由

人生のこれからを考えていく“家族”たちには「地球のこれからのことも考えてもらいたい！」  
そんな思いからコラボを実施



## 親子向けイベント開催時に住宅展示場サエラにて海ごみゼロキャンペーンを実施

なるべくたくさんの“家族”に参加してもらうために、家族向けイベント開催時に啓発活動を実施することで幅広い年齢層の参加者に考えてもらうきっかけを作ることができた。

# “アクション”を起こしてもらおうきっかけづくり



## • 分別のシンボルとなるモニュメントの制作

山口県では昔から関係の深い“くじら”をモニュメントとして制作し、海との関係性を考えてもらおうきっかけとした

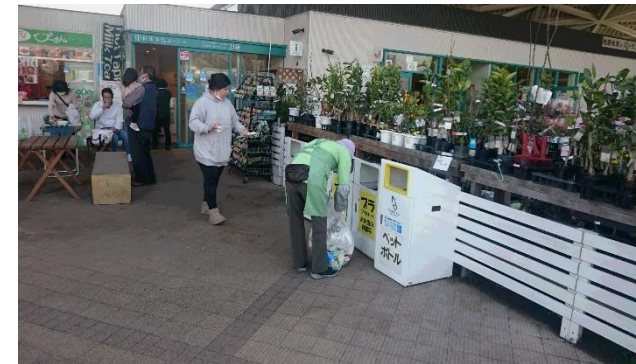
・モニュメント設置イベント

レノファ山口FCごみ分別維新(9月9日、9月30日)

山口市小郡地区連携「ごみ0大作戦」(11月5日)

住宅展示場サエラ海ごみゼロ維新キャンペーン(12月5日、6日)

# “アクション”を起こしてもらおうきっかけづくり



※SNSでの発信の様子

#海と日本 #Umigomi #CFB山口  
#山口の美しい海を守ろう

## • コロナ禍の対策として

自社制作番組で、参加できなかった県民への呼びかけを行ったほか

SNSでは自社アナウンサーたちが楽しく身近にできるごみ分別活動と呼び掛けた。

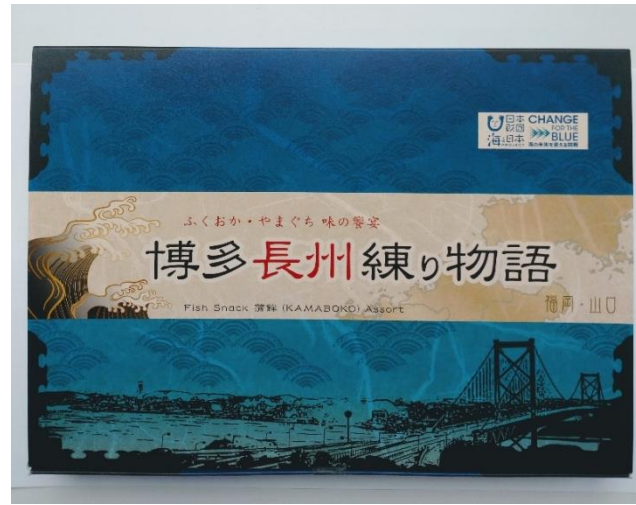
また、県内4か所の海に面した道の駅とコラボしてペットボトル専用のごみ箱を設置しごみの分別や削減と呼び掛けた。

・道の駅 萩しーまーと(萩市)・道の駅 センザキッチン(長門市)・道の駅 ソレーネ周南(周南市)・道の駅 北浦街道豊北(下関市)

# 事業成果物①



粒うに 誉(長州屋とはなさん)



博多長州練り物語(フジミツ)



ハンドソープ(岩谷産業販売)

## ・ 地元企業との事業成果物

地元企業と連携し海洋ごみ問題を啓発するオリジナル商品を開発し商品の流通により海洋ごみ問題を提起・発信



# 事業成果物②



Tシャツ



軍手



地元広報に掲載

## ・ 海洋ごみを広く認知させる為の事業成果物

ごみ分別活動やごみ拾い活動時に着用し、活動を見た人にも認知できるように制作。

# 終わりに

## ●CHANGE FOR THE BLUEの活動を通じて

今回、コロナ禍という特殊な状況ではあったものの、様々なアプローチをかけることで県民の“自分ごと”化に大きくつながったと思います。

レノファ山口FC、小学校などとコラボしたことで幅広い年代層にCHANGE FOR THE BLUEの趣旨を理解してもらえたと思います。三方を海で囲まれた山口県だからこそ、県民それぞれの意識を高めていかなければならないと感じました。